



キハ141系 SL銀河客車



写真:久保田 敦

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- キハ141系はJR北海道の学園都市線(札沼線)の輸送力増強用として1990年に登場したディーゼルカーで、当時余剰となっていた50系51形客車を改造して登場しました
- 台車にキハ56形の廃車発生品を流用したキハ141・142形とキハ150形の駆動システムを採用したキハ143形、およびこれらと組み合わせて使用される付随車のキサハ144形が存在しました
- 札沼線の札幌駅から北海道医療大学駅間を中心に使用されましたが、同区間の電化により多くが運用を終了し、キハ143形が室蘭本線に転用されたほかキハ142・143、キサハ144形の計4両がJR東日本に譲渡され、SL銀河の急勾配区間やトンネルでの補助動力を兼ねた客車として整備されました
- SL銀河のキハ141系は宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をテーマとした内外装となっており、星座や動物をモチーフとした模様が描かれているほか、塗装が編成の前から後ろへかけてトーンが変化していく青色となっているのが特徴です

【文責:トミーテック】

◆ここがポイント

POINT:1

SL銀河用客車に改造された側面や貫通扉に増設された窓など同列車用のキハ141系700番代を新規製作で再現



POINT:2

編成を通して色が徐々に変化していく塗装を再現 側面の装飾は印刷で再現



各画像は実車です 実際の製品とは異なる場合があります

◆製品化特徴

- SL銀河で使用されるキハ141系を新規製作で再現
- シートは車内に設置されたラウンジやカウンターを可能な限り立体的に再現
- 車番、表記は印刷済み
- キハ143-701形は動力車で、C58形との協調用に速度調整機構装備
- キハ143-701・キハ142-701形の先頭側はTNカプラー(SP)装備、アーノルドカプラーアダプター付属
※C58-239と連結する際はアーノルドカプラーを使用して下さい

- ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ヘッド・テールライトは白色LEDによる点灯
- ヘッドライトはカラープリズムの採用により電球色に近い色で点灯
- フライホイール付動力、新集電システム、銀色車輪採用
- M-13モーター採用

■セット内容・編成例

<別売りオプション>
室内灯:<0733>LC白色



●並べて楽しめる商品●

～トミックスで揃える 東北の車両～



花巻へアクセス! E5系/H5系



釜石線の仲間! キハ100形



リアス海岸にそって走る! 三陸鉄道36-700形

品番	98522	品名	JR キハ141系旅客車(SL銀河用客車)セット	セット両数	4両
発売月	2023年11月	JANコード	4543736985228	予価	¥22,660 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218 × 304 × 34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース

JR東日本商品化許諾済



2023.3.9発信

©TOMYTEC ※製品は、実車の型式・仕様とは異なる場合もありますのでご了承をお願いいたします。 ※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。